



2024年5月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年6月27日

上場会社名 株式会社 銚子丸 上場取引所 東
コード番号 3075 URL <https://www.choushimaru.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 満
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 仁科 善生 TEL 043-350-1266
定時株主総会開催予定日 2024年8月8日 配当支払開始予定日 2024年8月9日
有価証券報告書提出予定日 2024年8月9日
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期の業績 (2023年5月16日~2024年5月15日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期	21,360	10.6	1,709	155.3	1,735	118.5	1,073	92.3
2023年5月期	19,310	13.4	669	194.1	794	△52.7	558	△47.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年5月期	78.33	78.04	12.2	14.3	8.0
2023年5月期	40.75	40.73	6.9	7.1	3.5

(参考) 持分法投資損益 2024年5月期 一百万円 2023年5月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期	12,842	9,309	72.3	676.31
2023年5月期	11,402	8,367	73.2	609.00

(参考) 自己資本 2024年5月期 9,281百万円 2023年5月期 8,342百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年5月期	2,375	△1,839	△130	6,178
2023年5月期	430	△1,023	△14	5,773

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年5月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年5月期	—	0.00	—	12.00	12.00	164	29.4	2.0
2024年5月期	—	0.00	—	12.00	12.00	164	15.3	1.9
2025年5月期 (予想)	—	0.00	—	12.00	12.00		22.0	

3. 2025年5月期の業績予想（2024年5月16日～2025年5月15日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	10,649	4.7	447	△50.9	453	△50.8	270	△52.8	19.69
通期	22,173	3.8	1,247	△27.0	1,256	△27.6	748	△30.3	54.56

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（2）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年5月期	14,518,000株	2023年5月期	14,518,000株
2024年5月期	794,413株	2023年5月期	819,486株
2024年5月期	13,704,926株	2023年5月期	13,698,514株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症から解放されて経済活動のコロナ前への正常化が進み、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の増加等を背景とした回復基調となりました。ウクライナや中東等で緊迫した情勢が続く中で、日米金利差拡大に伴う円安の進展やこれらを背景としてエネルギー・原料・資源コストが高騰し物価が上昇する一方で、景気回復に伴う労働力不足が顕在化するなど、国内外で先行き不安定な状況が続きました。

外食業界におきましては、コロナの呪縛から解放されてイートイン需要が急回復し、業界全体の営業活動が活発化しました。一方で、物価上昇に対する消費者の生活防衛意識が高まる中で、業界全体の価格改定の動きも抑制的なものとなりました。

このような状況において、当社は、通常の月別イベントに加え、『銚子丸47周年創業祭（2023年10月16日～同年11月15日）』、『クリスマスミートフェア（2023年11月16日～同年12月25日）』、及び『バレンタインフェア（2024年2月10日～同月14日）』等、1年を通じて時節の特別イベントを開催し、リピート客数の増大並びに新規顧客の獲得を図りました。

店舗開発につきましては、2023年6月に「すし銚子丸横浜六ツ川店」（横浜市南区）を新規に出店しました。また、2024年3月には豊洲市場に隣接して開業した豊洲場外江戸前市場【豊洲千客万来】に、日本の伝統食「鮓」を江戸と現代を融合させた空間の中で、職人の技とおもてなしの心をもってご提供する新業態「鮓Yasuke豊洲千客万来店」（東京都江東区）を新規に出店しました。一方で、雇用が逼迫する中で、限られた人的資源の有効活用と効率的な店舗網の再構築の観点から「すし銚子丸南浦和店」（2023年6月）、「同 三鷹店」（同7月）、及び「同浦和木崎店」（同7月）を閉店しました。並行してコロナ収束後にテイクアウト需要が急減し、店舗採算の確保が難しくなった「すし銚子丸テイクアウト専門店荻窪店」（2023年6月）、「同 初台店」（同7月）、「同 落合店」（同7月）及び「同ペリエ海浜幕張店」（同10月）について、歴史的使命を終了したとの判断により順次閉店しました。この結果、当事業年度末の店舗数は88店舗となりました。

以上の結果、当事業年度の売上高は、イートイン客数の急回復及び価格改定の定着に加え、テレビ放映をはじめとした1年間で延べ40回にわたるメディアでの紹介等が奏功し、213億60百万円（前期比10.6%増）となりました。

利益面につきましては、令和6年能登半島地震に対する災害義援金100百万円、及びウクライナ難民緊急支援100百万円を寄付しましたが、売上高の増加に加えて、価格改定やフルオーダー化に伴う廃棄ロス減少等による原価率の低下、及びコロナ下に推進してきた機械化・省力化等による利益体質の改善努力等が奏功し、営業利益は17億9百万円（同155.3%増）、経常利益は、17億35百万円（同118.5%増）となりました。なお、採算が悪化した店舗に係る減損損失1億74百万円を計上したこと等により、当期純利益は10億73百万円（同92.3%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当事業年度末における資産は14億39百万円増加し、128億42百万円（前期比12.6%増）となりました。主な要因は次のとおりであります。

流動資産は4億5百万円増加し、80億75百万円（同5.3%増）となりました。主な内訳は、現金及び預金の増加4億5百万円であります。

固定資産は10億34百万円増加し、47億67百万円（同27.7%増）となりました。これは主に、建物（純額）の増加4億43百万円、工具、器具及び備品（純額）の増加63百万円、ソフトウェアの増加2億12百万円及び長期繰延税金資産の増加80百万円によるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債は4億98百万円増加し、35億33百万円（同16.4%増）となりました。主な要因は次のとおりであります。

流動負債は4億69百万円増加し、30億32百万円（同18.3%増）となりました。主な内訳は、未払法人税等の増加4億54百万円によるものであります。

固定負債は28百万円増加し、5億1百万円（同6.0%増）となりました。これは主に、資産除去債務の増加28百万円によるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産は9億41百万円増加し、93億9百万円(同11.3%増)となりました。主な内訳は、繰越利益剰余金の増加9億9百万円であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ4億5百万円増加し、61億78百万円(7.0%増)となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、23億75百万円(前事業年度は4億30百万円の獲得)となりました。これは、税引前当期純利益15億41百万円、減価償却費4億65百万円及び減損損失1億74百万円による資金の獲得によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、18億39百万円(前期比79.7%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出12億25百万円及び関係会社株式の取得による支出3億6百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億30百万円(前事業年度は14百万円の使用)となりました。これは配当金の支払額1億63百万円による資金の使用によるものであります。

(参考)

	2020年5月期	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期
自己資本比率(%)	74.5	54.3	71.7	73.2	72.3
時価ベースの自己資本比率(%)	178.0	116.0	138.5	143.0	202.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	2.9	0.1	0.4	0.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	248.9	1,324.0	444.4	5,614.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注3) 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注4) 2020年5月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

外食業界におきましては、コロナから解放される中でイートイン需要が急回復し、業界全体の営業活動が活発化してきており、一方で、一昨年から続く業界全体での価格改定の動きにも落ち着きが見られることから、売上は順調に推移することが期待されます。反面で、利益面では、原料・資源コストの継続的な上昇、外食業界における恒常的な人手不足による人件費の傾向的な上昇等、先行き不透明な状況が続くことが予想されます。

このような環境の下、当社は、「設備」と併行して「DX推進」と「人財」への傾斜的な投資によりビジネスモデルの一層の高度化を図ることで、更なる投資余力を生み出し、これを再投資することで売上増加と利益の拡大を循環させる「サステナブル(継続可能)企業」の確立を目指してまいります。

2025年5月期の店舗開発につきましては、人件費をはじめ様々な経費の上昇に耐え得る収益性を確保するために、「店舗規模」「回転率」をより重視することとし、新規出店は新業態を含め5店舗、席数増加・作業性・イメージアップ・省力化を目的とする大規模改装は3店舗を計画しております。

以上の取り組みにより、2025年5月期の業績見通しにつきましては、売上高221億73百万円(前期比3.8%増)、営業利益12億47百万円(前期比27.0%減)、経常利益12億56百万円(27.6%減)、当期純利益7億48百万円(前期比30.3%減)を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、日本基準を採用しております。I F R S (国際財務報告基準)適用に関しましては、今後の動向を注視しつつ検討していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年5月15日)	当事業年度 (2024年5月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,180,759	6,585,878
売掛金	839,219	973,790
原材料及び貯蔵品	224,772	265,700
前払費用	92,528	86,944
未収還付法人税等	151,295	—
その他	182,001	163,266
流動資産合計	7,670,576	8,075,579
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,310,959	1,754,621
構築物（純額）	31,469	36,956
車両運搬具（純額）	2,399	8,322
工具、器具及び備品（純額）	682,137	745,829
土地	71,907	71,907
建設仮勘定	96,311	951
有形固定資産合計	2,195,184	2,618,588
無形固定資産		
ソフトウェア	23,933	236,928
ソフトウェア仮勘定	77,046	112,936
その他	5,660	4,231
無形固定資産合計	106,639	354,096
投資その他の資産		
投資有価証券	—	20,000
出資金	140	140
関係会社株式	—	306,702
長期前払費用	13,734	7,714
繰延税金資産	366,867	447,684
敷金及び保証金	858,705	845,503
その他	190,992	166,820
投資その他の資産合計	1,430,439	1,794,565
固定資産合計	3,732,264	4,767,250
資産合計	11,402,841	12,842,830

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年5月15日)	当事業年度 (2024年5月15日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	675,610	658,450
短期借入金	192,000	198,000
資産除去債務	6,640	—
未払金	1,445,304	1,422,354
未払法人税等	—	454,232
預り金	108,675	131,160
契約負債	7,719	29,085
前受収益	13,621	17,190
賞与引当金	89,000	89,000
株主優待引当金	23,687	24,457
ポイント引当金	—	8,283
流動負債合計	2,562,259	3,032,214
固定負債		
長期未払金	153,000	153,000
資産除去債務	310,808	339,152
その他	9,000	9,000
固定負債合計	472,808	501,152
負債合計	3,035,067	3,533,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金		
資本準備金	236,829	236,829
その他資本剰余金	232,931	241,418
資本剰余金合計	469,761	478,248
利益剰余金		
利益準備金	150	150
その他利益剰余金		
別途積立金	150	150
繰越利益剰余金	8,469,656	9,378,848
利益剰余金合計	8,469,956	9,379,148
自己株式	△697,275	△676,010
株主資本合計	8,342,442	9,281,386
新株予約権	25,331	28,077
純資産合計	8,367,773	9,309,463
負債純資産合計	11,402,841	12,842,830

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年5月16日 至 2023年5月15日)	当事業年度 (自 2023年5月16日 至 2024年5月15日)
売上高	19,310,283	21,360,275
売上原価		
原材料期首棚卸高	157,380	209,079
原材料仕入高	8,228,048	8,326,281
合計	8,385,428	8,535,361
原材料期末棚卸高	209,079	254,053
売上原価合計	8,176,348	8,281,307
売上総利益	11,133,934	13,078,967
販売費及び一般管理費	10,464,546	11,369,959
営業利益	669,387	1,709,008
営業外収益		
受取利息	977	1,003
協賛金収入	7,660	6,210
仕入割引	2,077	4,773
受取賃貸料	3,443	3,473
受取保険金	6,452	1,382
雇用調整助成金	1,101	108
受取協力金	129,222	—
その他	15,585	11,124
営業外収益合計	166,522	28,076
営業外費用		
支払利息	932	421
支払補償費	100	991
訴訟損失	35,000	—
その他	5,425	29
営業外費用合計	41,457	1,443
経常利益	794,451	1,735,641
特別利益		
固定資産売却益	—	480
新株予約権戻入益	568	2,831
特別利益合計	568	3,312
特別損失		
固定資産除却損	14,774	23,549
減損損失	10,437	174,198
特別損失合計	25,211	197,748
税引前当期純利益	769,808	1,541,205
法人税、住民税及び事業税	187,117	548,448
法人税等調整額	24,517	△80,816
法人税等合計	211,634	467,631
当期純利益	558,174	1,073,574

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年5月16日 至 2023年5月15日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	315,950	236,829	16,981	253,811	150	150	7,993,673	7,993,973
当期変動額								
剰余金の配当							△82,191	△82,191
当期純利益							558,174	558,174
自己株式の取得								
自己株式の処分								
資本金から剰余金への振替	△215,950		215,950	215,950				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	△215,950	—	215,950	215,950	—	—	475,983	475,983
当期末残高	100,000	236,829	232,931	469,761	150	150	8,469,656	8,469,956

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△697,275	7,866,459	17,011	7,883,470
当期変動額				
剰余金の配当		△82,191		△82,191
当期純利益		558,174		558,174
自己株式の取得				
自己株式の処分				
資本金から剰余金への振替		—		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		—	8,319	8,319
当期変動額合計	—	475,983	8,319	484,302
当期末残高	△697,275	8,342,442	25,331	8,367,773

当事業年度(自 2023年5月16日 至 2024年5月15日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	その他資本剰 余金	資本剰余金 合計		別途積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	100,000	236,829	232,931	469,761	150	150	8,469,656	8,469,956
当期変動額								
剰余金の配当							△164,382	△164,382
当期純利益							1,073,574	1,073,574
自己株式の取得								
自己株式の処分			8,486	8,486				
資本金から剰余金への振替								
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	8,486	8,486	—	—	909,191	909,191
当期末残高	100,000	236,829	241,418	478,248	150	150	9,378,848	9,379,148

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△697,275	8,342,442	25,331	8,367,773
当期変動額				
剰余金の配当		△164,382		△164,382
当期純利益		1,073,574		1,073,574
自己株式の取得	△134	△134		△134
自己株式の処分	21,400	29,887		29,887
資本金から剰余金への振替		—		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		—	2,745	2,745
当期変動額合計	21,265	938,944	2,745	941,689
当期末残高	△676,010	9,281,386	28,077	9,309,463

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年 5月 16日 至 2023年 5月 15日)	当事業年度 (自 2023年 5月 16日 至 2024年 5月 15日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	769,808	1,541,205
減価償却費	382,505	465,362
減損損失	10,437	174,198
訴訟損失	35,000	—
株式報酬費用	8,888	8,071
新株予約権戻入益	△568	△2,831
建設協力金と相殺した地代家賃・賃借料	24,909	23,189
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,000	—
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△2,000	—
受取利息及び受取配当金	△977	△1,003
支払利息	932	421
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△480
固定資産除却損	14,774	23,549
売上債権の増減額 (△は増加)	△35,447	△134,571
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△48,367	△40,928
仕入債務の増減額 (△は減少)	39,722	△17,159
未払消費税等の増減額 (△は減少)	145,433	85,457
その他	△118,315	242,912
小計	1,223,736	2,367,393
利息及び配当金の受取額	103	174
利息の支払額	△969	△423
法人税等の還付額	—	113,158
法人税等の支払額	△757,003	△105,196
訴訟関連損失の支払額	△35,000	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	430,867	2,375,106
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△407,519	△407,526
定期預金の払戻による収入	407,512	407,519
有形固定資産の取得による支出	△923,025	△1,225,062
有形固定資産の売却による収入	—	480
無形固定資産の取得による支出	△61,059	△289,234
投資有価証券の取得による支出	—	△20,000
関係会社株式の取得による支出	—	△306,702
敷金及び保証金の差入による支出	△28,184	△21,758
敷金及び保証金の回収による収入	36,387	36,635
建設協力金の支払による支出	△40,000	—
資産除去債務の履行による支出	△7,573	△13,787
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,023,462	△1,839,435
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	72,000	6,000
リース債務の返済による支出	△4,282	—
ストックオプションの行使による収入	—	27,258
配当金の支払額	△82,207	△163,817
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,489	△130,558
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△607,085	405,112
現金及び現金同等物の期首残高	6,380,324	5,773,239
現金及び現金同等物の期末残高	5,773,239	6,178,351

(5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有しておりますが、損益及び利益剰余金からみて重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前事業年度(自 2022年5月16日 至 2023年5月15日)

当社は、寿司事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2023年5月16日 至 2024年5月15日)

当社は、寿司事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2022年5月16日 至 2023年5月15日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位: 千円)

	寿司事業	合計
外部顧客への売上高	19,310,283	19,310,283

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高であって、損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2023年5月16日 至 2024年5月15日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位: 千円)

	寿司事業	合計
外部顧客への売上高	21,360,275	21,360,275

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高であって、損益計算書の売上高の10%以上を占める

ものがないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度 (自 2022年 5月16日 至 2023年 5月15日)

(単位：千円)

	寿司事業	合計
減損損失	10,437	10,437

当事業年度 (自 2023年 5月16日 至 2024年 5月15日)

(単位：千円)

	寿司事業	合計
減損損失	174,198	174,198

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年5月16日 至 2023年5月15日)	当事業年度 (自 2023年5月16日 至 2024年5月15日)
1株当たり純資産額	609.00円	676.31円
1株当たり当期純利益	40.75円	78.33円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	40.73円	78.04円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年5月16日 至 2023年5月15日)	当事業年度 (自 2023年5月16日 至 2024年5月15日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	558,174	1,073,574
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	558,174	1,073,574
期中平均株式数(千株)	13,698	13,704
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	5	51
(うち新株予約権(千株))	5	51
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	株式会社銚子丸 第2回2020年新株予約権 (新株予約権の数1,001個、 普通株式50,050株) 株式会社銚子丸 第4回2022年新株予約権 (新株予約権の数917個、 普通株式45,850株) 株式会社銚子丸 第5回2023年新株予約権 (新株予約権の数987個、 普通株式49,350株)	株式会社銚子丸 第6回2024年新株予約権 (新株予約権の数1,006個、 普通株式50,300株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。